



## JAMCA ニュース

No.125

2025年4月1日

発行  
協会事務局  
編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31  
ウィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3  
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

# 時代の変化への対応について

学校法人小倉学園 副理事長／群馬自動車大学校・東京自動車大学校 校長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

小倉 基宏

新年度を迎え、令和7年度の入学生を無事に迎え入れることができ、皆様の学校もお忙しいところと思います。

さて、令和4年5月に自動車整備士技能検定規則等の一部を改正する省令が公布されたことにより、今まであった国家資格の体系が変更され、今年度入学生より新たな資格体系に向けたカリキュラムへ変更となりました。

今回の改正は、自動車技術の進歩や整備士不足など様々な面において、従来の資格体系では対応が困難になり、変化を求められた結果だと思えます。その中でも、先進安全技術の発達・普及により電子制御装置整備の知識・技能が自動車整備士に求められることは当然であり、EVやFCVなどの登場によりディーゼルとガソリンという枠組みでは不十分と、総合的な知識技術が求められている今の時代に合わせた対応になっていると思います。

頻繁な法改正となると対応が大変になりますが、その時々にあった社会から求められる国家資格であり続けるために、変化し続けていくことはとても重要だと思います。

最先端技術と言えば、自動運転技術などでも用いられているAIの発達は目を見張るものがあり、特に私達に身近なChatGPTやGemini、Copilotなどの生成AIの普及は今後の社会の在り方を変えていくのでは



ないかと思っています。

色々な研修に参加して勉強した範囲ではありますが、私達の学校でも色々な使い方ができると感じています。例えば問題の作成や案内文・挨拶文の作成などは、下書き・ドラフト程度には十分利用可能なレベルまで達していると感じています。

ただし、あたかも正しいように嘘をつくこと（ハルシネーション）や、誤って個人情報を入れてしまうとその情報がどこかで利用されてしまう情報流出のリスク、知らないうちに著作権を侵害してしまうリスクなどの問題を抱えていることも事実です。

思い返してみるとインターネットが普及し始めた頃のITリテラシーとよく似ていて、生成AIを扱う人間が情報の取捨選択・判断ができるか、どう利用していくかが重要になっていくと思いますし、生成AIをどう使いこなせるかが今後のスキルの一つになっていくと感じています。

先ほどAIが社会を変えると申し上げましたが、それに反して自動車整備士という仕事が今後なくなると強く感じるようにもなりました。AIは膨大な知識の中から可能性を演算することはできても、実際に自動車を整備することはできませんし、仮にAI搭載ロボットが出来たとしても、真に正常かどうかの判断ができません。

あくまで自動車の安全を守るのは自動車整備士の技術・知識であり、AIの膨大な知識をより多く利用できる整備士が今後活躍の場を広げると考えていますので、AIに利用されるのではなく、AIを利用する整備士を育てていきたいと思っています。

最後になりますが、生成AIに自動車整備士の将来性について聞いたところ、「自動車整備士の将来性は明るいです。」とのことでした。

情報の正誤は人間の判断ですので、皆さんはどう捉えましたか。

話のタネに一度触れてみてはいかがでしょうか。

## CONTENTS

- 2面 全日本高等学校ゼロハンカー大会  
24分耐久レースについて
- 3面 クルマ大好き!、活躍!! 卒業生
- 4面・5面 より安全な自動車を目指して  
～安全技術の進歩と整備士の重要性～
- 6面・7面 協会トピックス・地区通信
- 8面 私の教材活用・お知らせ・  
編集後記